

新たな経営目標の策定について

将来の見通しの記述について

本資料にある計画、戦略、業績予想等に関する記述は、記述した時点で当社が入手できた情報に基づいたものです。これらの予想・予測には、当社を取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、為替レート等不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性もあります。

したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本資料の記述と異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。

新経営目標

- 収益性、資本効率性、成長性および財務健全性の経営目標を設定、規律を踏まえつつ、積極的な成長投資の実行により企業価値最大化を実現。
- 資本コストを超えるROICを意識した経営を実践。

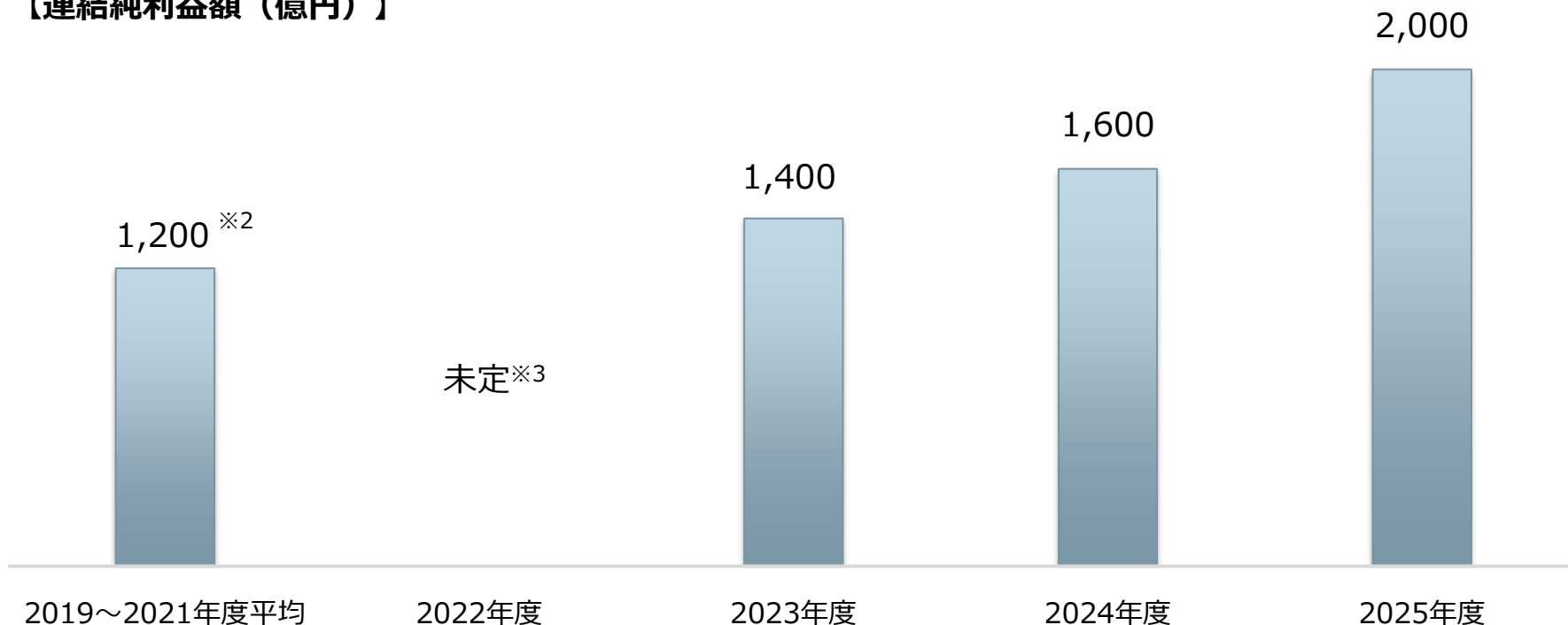
	経営指標	2019年度～2021年度平均	2025年度目標値
収益性	当期純利益※	1,200億円	2,000億円
	EBITDA※	3,500億円	5,000億円
資本効率性	ROIC※	3.5%程度	4.5%程度
	WACC	3.0%程度	3.5%程度
成長性	投資CF	2019～2021年度累計 12,000億円程度	2022～2025年度累計 14,000億円程度
財務健全性	Net DER	1.0倍程度	1.0倍以下
	Net Debt／EBITDA※	4.0年程度	4.5年以下
ご参考	脱炭素関連投資	2019～2021年度累計 800億円程度	2022～2025年度累計 6,500億円程度
	アンモニア混焼	—	20%実証試験完了
	水素混焼	—	30%実証試験完了
	ROE※	7.0%程度	9.0%程度

※ 燃料費調整の期ずれ影響は除く。2021年度のトレーディング事業に関する一時的利益（1,200億円程度）を除く。

2025年度までの収支水準

- 連結純利益額※1は、引き続き「2025年度：2,000億円」を目指す。

【連結純利益額（億円）】



※1 燃料費調整の期ずれ影響は除く。

※2 2021年度のトレーディング事業に関する一時的利益（1,200億円程度）を除く。

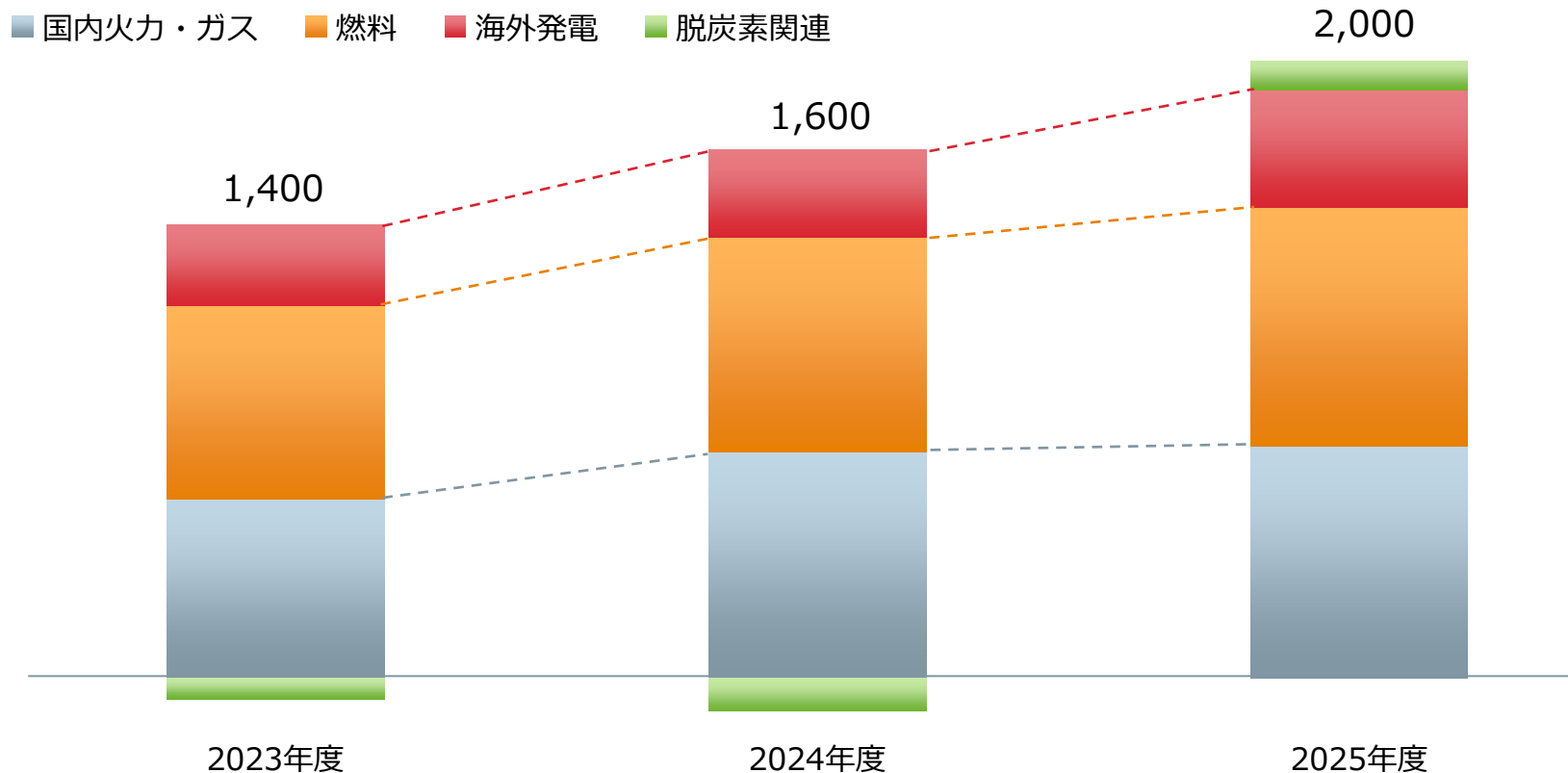
※3 合理的に業績を算定出来ないことから未定としている。

※4 算定上の前提条件 為替レート：2023～2025年度 平均110円/USD程度

セグメント別収支水準

- 2025年度2,000億円の計画利益のうち、約8割は既存投資からの利益を予定。
 - 国内火力・ガス事業：LNGの数量調整処理が終了、高効率なリプレイス電源による利益を見込む。
 - 燃料事業：引き続きトレーディング、上流事業等での利益を見込む。
 - 海外発電事業：低競争力案件の整理が終了、アジアのトランジション投資推進による利益を見込む。

【セグメント別連結純利益額※（億円）】



※燃料費調整の期ずれ影響は除く。